

平成21年度第8回看護学部教授会議事録

開催場所	大会議室	開催日時	平成22年3月3日(水) 16:00~18:30
出席者	(学部長) 桑名佳代子 (教授) 安齋由貴子, 伊藤ひろ子, 遠藤芳子, 小野幸子, 塩野悦子, 関戸好子, 武田淳子, 土屋香代子, 徳永恵子, 長澤治夫, 中塚晴夫, 真覚健, 宮林幸江, 山田嘉明, 弓谷行宏, 吉田俊子 (准教授) 桂晶子, 荻部明彦, 北岡晃子, 佐々木久美子, John Wiltshier, 高橋和子, 高橋方子, 萩原潤, 原玲子, 山岸利次 (講師) 鹿野裕美, 竹本由香里, 只浦寛子 (助教) 阿部智美, 阿部桃子, 井口巴, 岩岡美樹, 大池真樹, 大沼珠美, 小野寿江, 小山妙子, 佐藤憲子, 佐藤ゆか, 澤口利絵, 菅原亜希, 鈴木敦子, 相馬衣都, 田中美江, 長岡芳久, 平尾由美子, 松尾尚美, 山田志枝, 渡邊志乃 (52名中出席者50名) 事務局 中村課長, 佐々木GL, 大津主任主査		
欠席者	阿部幹佳, 西村亜希子		(職位別50音順, 敬称略)
署名人			
	議 事 内 容		
	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第7回教授会議事録の確認及び第8回教授会議事録署名人の指名について 2月10日に開催された第7回教授会の議事録の確認について諮られ, 了承された。続いて本教授会議事録署名人として徳永恵子教授が指名された。</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>① 後期成績判定(4年生)及び卒業判定について 看護学部看護学科4年生106名の平成21年度後期成績判定について諮られ, 原案どおり承認された。続いて卒業判定について諮られ, 原案どおり全員の卒業が承認された。</p> <p>② 平成22年度全学委員会委員及び学部専門委員の構成について 共通教育センター, 総合情報センター, 国際センター, 地域連携センターの各運営委員会, 研究委員会規定における6つの専門委員会及び評価委員会等4つの全学委員会の看護学部選出委員並びに看護学部専門委員会の構成について諮られ, 原案どおり承認された。 なお, 看護学研究科における上記各委員会選出委員及び看護学研究科専門委員会の構成についても併せて諮られ, 原案どおり承認された。</p> <p>③ 学部各委員会提出事項について [教務委員会] 科目担当教員の変更について 次のとおり科目担当申請書の提出があった「看護技術論」の新たな科目担当者について, 運営会議における審査の説明及び審議がなされ, 原案のとおり承認された。 ≪申請内容≫ 科目名 看護技術論 担当教員 高橋方子, 竹本由香里 平成22年度基礎ゼミの担当教員について 平成22年度基礎ゼミの担当教員14名について諮られ, 承認された。 なお, 従来1年生と編入生が混在してグループを構成していたものを, 平成22年度は編入生のみで2グループを構成することの説明がなされ, このことに関し否定的な意見があったが, 平成22年度は原案どおりの編成で試行的に行い評価することで承認された。 [入学試験委員会] 平成23年度以降の入学者選抜試験について 平成24年度大学入試センター試験から出題科目の選択範囲等が変更になることに伴い, 新たにセンター試験利用科目として「倫理、政治・経済」を加えることについて諮られ, 原案どおり承認された。また, 平成23年度から実施を予定している外国人留学生の特別選抜方法(主に教科と試験時間)について諮られ, 原案どおり承認された。</p> <p>④ 平成21年度事業年度評価について 2月24日の運営会議における審議結果が反映された資料により説明がなされ, 修正意見等があれば理事長への提出期限である3月9日までに学部長あてに報告することとし, 修正意見があればその内容を反映させた上で理事長に提出することも含め承認された。</p>		

<p>⑤ その他 特になし</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>① 人事について</p> <p>公募中の教員選考及び昇任人事に係る状況について、次のとおり報告がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募していた公衆衛生学の教授または准教授について、一次選考委員会において2名が合格したが、二次選考において2名とも不合格であったこと及び未定である平成22年度公衆衛生関連科目の担当教員については、3月15日の教授会において諮るよう現在調整中であること。 ・2月9日の二次選考において合格したが着任時期が未定であった基礎看護学領域の助教1名について平成22年6月1日に着任することが決定したこと。 ・公募していた老年看護学の助教1名及び地域看護学の助教1名について、二次選考の結果各1名が合格し、平成22年4月1日に着任すること。 ・共通教育センターに所属し看護学部兼任となる教員1名の採用が決定したこと。 ・看護学部から昇任人事の計画書を提出していた2名について、何れも昇任が決定したこと。 <p>② 教育研究審議会報告</p> <p>第11回教育研究審議会について、資料7のとおり報告がなされた。</p> <p>③ 運営会議報告</p> <p>第7回教授会以後開催された第26回運営会議の主な審議事項等について資料8のとおり報告がなされた。</p> <p>第26回運営会議 (2月24日)</p> <p>④ 学部各委員会報告</p> <p>[学生委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度前期休学申請があった1名(3年生)及び復学申請があった2名(3年生1名, 2年生1名)について2月24日の運営会議において審議され、申請どおり承認されたことの報告がなされた。 ・平成21年度卒業証書・学位記授与式の日程等について説明がなされた。 ・平成22年度入学式の日程等について説明がなされた。 <p>[教務委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日現在の平成22年度時間割案について報告がなされた。 ・平成22年度看護学部教務委員会オリエンテーションの日程等について報告がなされた。 ・平成22年度基礎ゼミの日程、授業計画等について説明がなされた。 ・平成22年度履修ガイドについて報告がなされた。なお、今回から新たに加えることとした「養護教諭1種免許状に係る授業科目年次配置表」を一部訂正することとされた。また、このことに関連し、看護学部履修規程別表2(養護教諭1種免許状に係る授業科目)を(養護教諭1種免許状に係る授業科目)と改正する必要があることの提案があり、承認された。 <p>[入学試験委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に決定している平成23年度以降の推薦入学試験及び一般選抜試験の試験科目の試験時間について、学務入試委員会において決定された内容の報告がなされた。 ・平成22年度前期日程試験の可否判定結果について報告がなされた。 <p>[予算・財政委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度予算の執行について、実習費のほとんどは今後執行する予定であるが、教育費は予定どおりの執行率であること、未執行の教育費予算により3階教員ラウンジにテーブル2台と椅子4脚を新規購入するとともに同ラウンジの既存の椅子及び学生用掲示板をそれぞれ更新すること、実習先のロッカーの鍵が紛失したことについては卒業研究担当教員の予算から支出すること、これらを執行した後の残予算の執行については、運営会議において予算・財政委員会に一任されたこと等の報告がなされた。 <p>[研究・紀要委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度紀要発行について、3月15日が発行予定日であること、年度内に各教員に配布する予定であること等が報告された。 <p>[実習委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実習におけるインシデントについて、実習委員会に報告のあった7件の概要、対応について報告がなされた。 ・前回教授会で日程等を周知した実習指導者研修会への出席についてのアナウンスがなされた。 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の研究委員会委員である長澤治夫教授から、研究委員会として平成22年度国際学会等発表旅費の概算所要額を把握することとなった報告がなされ、このために平成22年度において海外における研究発表(一部調査を含む)のために国際学会等発表旅費を申請する予定があ

る教員は、3月19日（1回目）または4月19日（2回目）までに長澤教授に報告するよう周知がなされた。

⑤ その他

- ・日本看護系大学協議会コア・カリキュラム検討会について
コア・カリキュラム検討会が2月20日及び21日に3グループに分かれ開催され、このうちの1グループに出席した桑名学部長から検討会の概要報告がなされた。
なお、当該検討会への本学の対応として、学部内にワーキンググループの立ち上げを想定していることの説明が前回の教授会においてなされたが、今回の検討会の内容からワーキンググループは立ち上げず、専門科目担当者会議において検討会での詳細を報告していくことの説明がなされた。
- ・国際シンポジウムについて
本学とタンペレ応用科学大学との共同シンポジウムについて、次のとおり運営会議で検討していることの報告がなされた。
 - ①日程は8月30日から9月4日の週のうち1日をシンポジウム開催日とすること。
 - ②本学からの発表は、看護研究に関すること4題、看護教育に関すること1題の計5題とすること。
 - ③シンポジウムのテーマは、3月10日の運営会議において決定するよう現在調整中であり、決定し次第、上記を含め相手方に提案すること。
 - ④参加者については、これまで海外で研究発表を行った経験のある教員を中心に人選すること。
 - ⑤旅費については、学部長または学部長に代わる者は国際センター旅費、シンポジウム発表者は国際学会等発表旅費によること。
 なお、開催日程について、上記期間は基礎実習中であるため、若手教員の参加のために基礎実習終了後から領域別実習開始前までの期間とするよう意見があったが、今回のシンポジウムについては上記期間とし、第2回目は若手教員が参加できるよう調整することとされた。
- ・教員評価について、昨年度のスケジュールに沿った対応についてのアナウンスがなされた。
- ・平成22年度計画案について、学部各専門委員会委員長は3月8日17時までに学部長に提出するよう周知がなされた。

(4) その他

以上

議事録署名人

氏名 桑名 佳代子 印

氏名 徳永 恵子 印